

アドベンチャーラベルに対応した  
「新しいガイド制度のあり方」  
中間取りまとめ（案）

## 新しいガイド制度検討の趣旨

- ・ アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）2021開催に向け、コース造成やガイド育成等を推進
- ・ AT対応のガイド基準である、アドベンチャートラベル・ガイドスタンダード（ATGS）に準拠したガイド育成の必要性を認識
- ・ ATWS2021開催により、ATの推進には適切な資格、技術を有し、かつ十分に訓練を受けた、質の高いガイドが必要と把握

幅広くかつ質の高いスキルを認定する「新たなガイド制度の導入」が必要

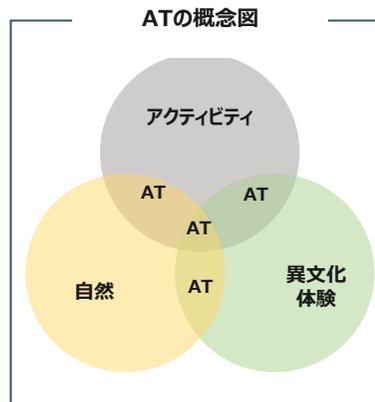
## 経過

- 2021年7月 第1回北海道観光審議会に諮問、第1回北海道観光審議会AT部会
- 8月 第2回北海道観光審議会AT部会
- 9月 ATWS2021バーチャル開催
- 11月 第3回北海道観光審議会AT部会
- 2022年1月 第4回北海道観光審議会AT部会

## 1 アドベンチャートラベル (AT) とは

### 【定義】

- アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態



### 【AT市場の状況】

- 市場規模：約70兆円超 (ATTAによる)
- 欧米豪の富裕層を中心に年々拡大
- AT旅行者の観光消費額は、通常旅行者の約2倍

## 2 アドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS) とは

- ATの国際的な団体 **ATTA** が主催する **世界最大のATイベント**
- 過去の大会では、世界中から約800名が参加



### ATTAとは

(Adventure Travel Trade Association)

世界最大のアドベンチャーツーリズム団体 (本部・米国)。メディア、政府観光局、観光協会、DMO、ツアーオペレーター、アウトドアメーカーなどで構成され、約100カ国、1,300会員を擁する。

### ATWS過去の開催実績

2016	アンカレッジ (米)
2017	サルタ (アルゼンチン)
2018	トスカーナ (伊)
2019	ヨーテボリ (スウェーデン)
2020	アデレード (豪) ※中止
<b>2021</b>	<b>北海道</b>

### アドベンチャートラベル・ワールドサミット・バーチャル北海道／日本

(1) 日程 令和3年(2021年)9月20日(月)～24日(金)

(2) 開催プログラム

- プレナリー(全体会合)
- 基調講演
- 分科会(コカレント)、ラウンドテーブル(一般参加型)  
(ともにATTAがテーマ設定)
- バーチャルジャパンアドベンチャー  
(道内外のPSA21本、札幌・釧路市をPRする動画配信)
- マーケットプレイス(商談会)
- メディアコネクト(海外メディアと参加者の懇談会)
- 北海道アドベンチャー  
(北海道に限定したコンテンツの常時配信)

※下線は北海道が主体的に関与有

- 北海道アウトドア活動振興条例に基づき、平成14年から北海道が運営
- 「北海道アウトドア講習」、「北海道アウトドア検定」、「北海道アウトドアガイド」、「北海道マスターガイド」の4つで構成

## マスターガイド

10年以上継続してアウトドアガイド資格を保有、かつ高度な知識や技術と豊富な経験を有し、かつ指導的な立場にある者

## 北海道アウトドアガイド

「北海道アウトドア検定」合格、かつ分野別認定試験（筆記・実技）に合格した者

山岳

自然

ラフティ  
ング

カヌー

トレイル  
ライディング

## 北海道アウトドア検定合格者

「北海道アウトドア検定（応用分野）」合格し、かつ指定する救命救急講習受講した者

## 北海道アウトドア講習修了者

「北海道アウトドア講習」受講した者

必須条件

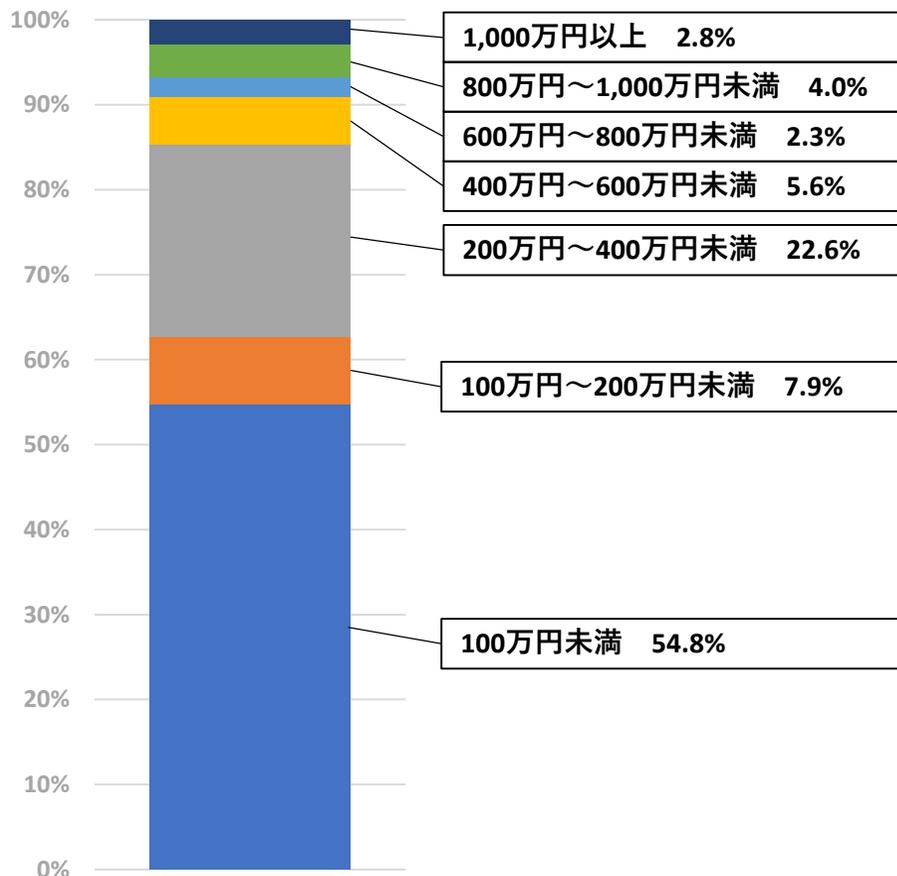
R3.3.31現在

分野	ガイド数	うちマスターガイド
山岳	173	3
自然	172	20
カヌー	92	5
ラフティング	35	3
トレイル ライディング	28	2
計（延べ）	500	33

## ガイド実態調査

- ・対象 北海道アウトドアガイド資格保有者351名  
に対してアンケート調査を実施
- ・期間 R3.10～12
- ・回答数 177 (回答率 50.4%)

### ガイド業の収入実績 (2019)



## ヒアリング等

- ・対象 北海道アウトドアガイド資格保有者等179名
- ・期間 R3.10～12

### <主な意見>

#### アウトドア事業全体

- ・人材の確保が困難
- ・客単価を上げること、ガイド自身が自らの価値を高めることが必要
- ・より深く地域に根ざし、ターゲットを絞る常連客などの上質の顧客はお金を惜しまず支払う

#### A T 対応・振興

- ・簡単なアクティビティであれば片言の英語力で対応できるが、ATガイドは地域の環境やストーリーを語れる英語力が望ましい
- ・ベテランガイドのガイディングを参考にしたい。特にATのスルーガイド研修には興味がある
- ・日本人ではなく、外国人のガイドから学びたい
- ・ガイドや関係者に世界基準のATを感じられる機会の提供 (体験会や海外視察等) を希望

#### 北海道アウトドア資格について

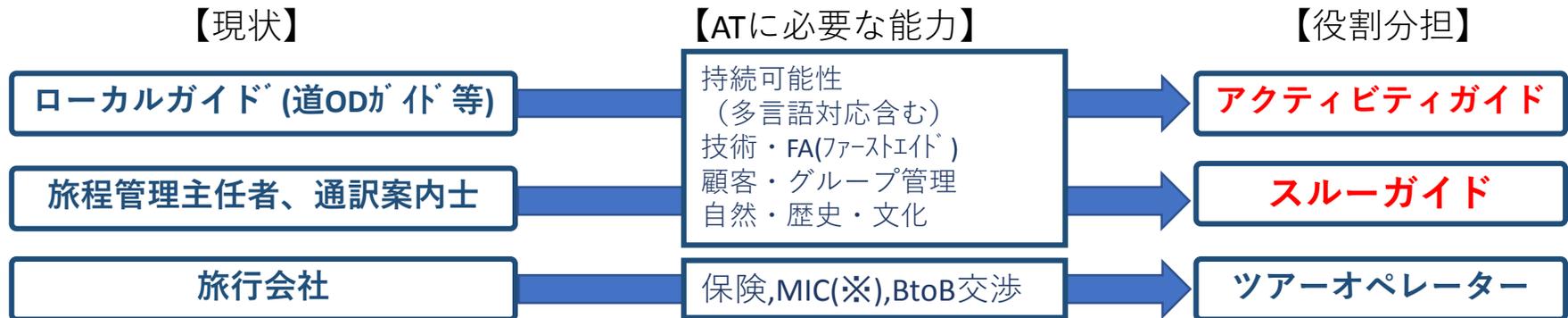
- ・資格を保持していることで旅行会社との契約が円滑に進む
- ・自分の技術を示す唯一の公的な資格である
- ・顧客への認知度向上など、資格自体の価値を高めて欲しい

## ATWS2021で得られた成果

- 十分な訓練及び公的資格等を保有しているガイド等が必要  
→ 海外の旅行会社が求める能力や資格を認定する制度が必要（ATWS2023までに試行を開始）

## 各AT関係主体の現状とATガイドのイメージ

- AT関連の主体を機能別に3種類に分類  
「アクティビティガイド」、「スルーガイド」及び「ツアーオペレーター」
- ATに求められる能力・認定制度  
【ATに必要な能力】を有するガイドを「アクティビティガイド」、「スルーガイド」として認定することを検討

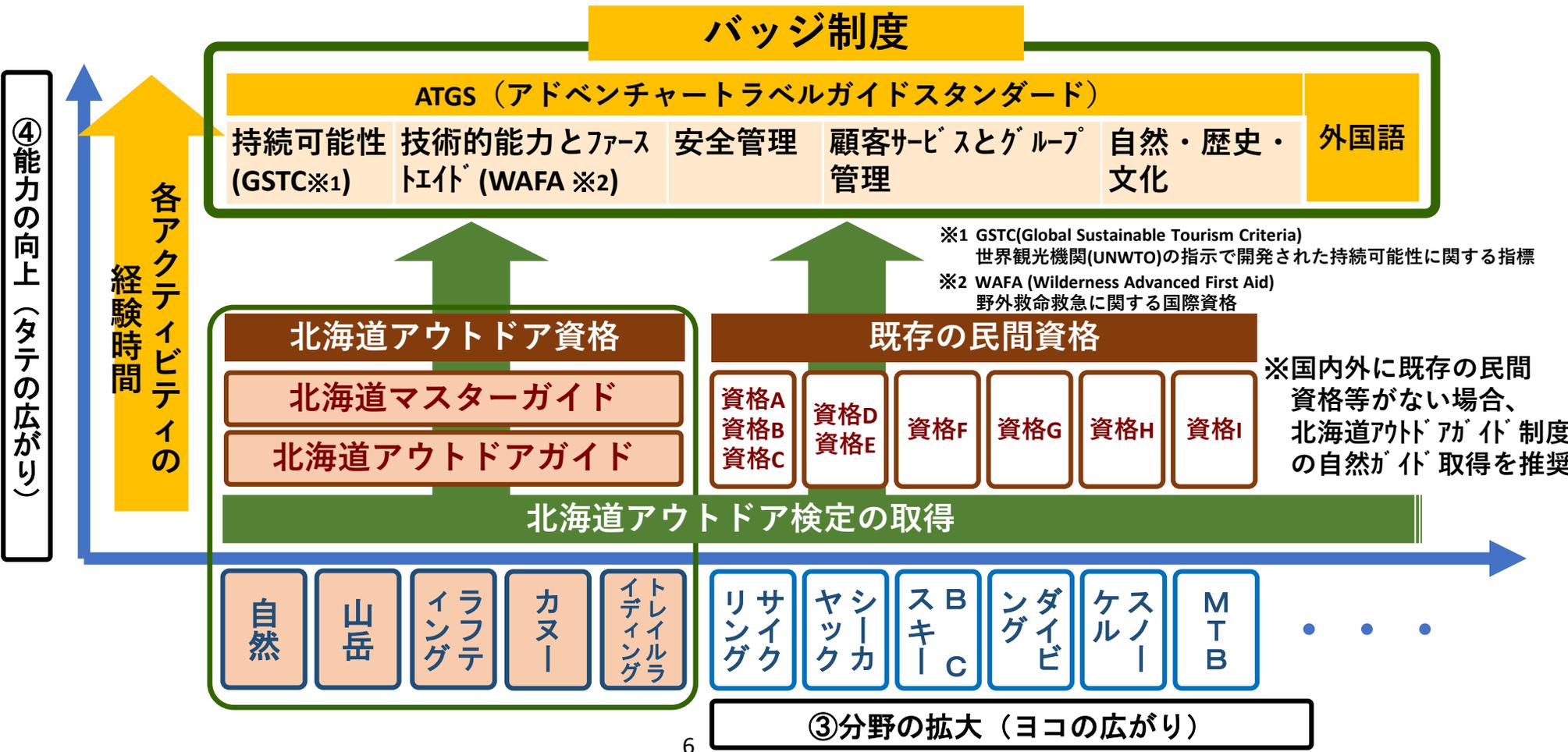


(※)MIC (Minimum Information for Customers)  
旅行に関して、顧客に提供する最低限の情報



# ATに対応した新たなガイド制度（アクティビティガイド）

- ① 目標 “国際資格” を実装した “ローカルガイド”（ATツアーへの対応）
- ② 方向 道アウトドアガイド資格制度を土台に、バッジを付与する制度を付加
- ③ 分野の拡大 北海道アウトドアガイド制度の5分野の枠組みは維持し、他分野は同制度の検定取得 + 既存民間資格と連携
- ④ 能力の向上 経験時間の基準を設定し、ATGS対応の国際資格取得や研修の受講等を認定  
フィールドでの実査（現場で使える技術等を保証）を検討



## 今後の検討課題

○ 次の論点については、引き続き検討を行い、令和4年度上期中を目処としてまとめる予定

アクティビティガイド	顧客ニーズに対応した分野の拡大 (ヨコの広がり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携可能な民間資格の調査・協議</li> <li>・ 連携する分野（海外資格を含む）の「目利き」 ～ 誰が、どのタイミングでどのように実施するか</li> </ul>
	品質保証と能力の向上 (タテの広がり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ATGSの各基準を充足する方法を検討</li> <li>・ アクティビティごとの客観的基準（経験時間）の設定</li> <li>・ 国際資格の実装に向けた基準・手法</li> <li>・ 実査の基準・手法 ～ 誰が、どのように判断するか ～ 口コミ等の評価や降格制度の付与の要否 ～ ヨコの広がりの実査について</li> </ul>
スルーガイド		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AT対応に必要な能力の審査基準及び手法</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外や顧客から見た「分かりやすさ」の確保</li> <li>・ 資格の運営団体及び運営の方法</li> </ul>

## スケジュール（想定）

時期	審議会における審議等
令和4年2月15日	北海道観光審議会（あり方中間取りまとめ報告）
令和4年3～4月頃	第5回 AT部会（検討課題の審議等）
5～6月頃	第6回 //（あり方素案の審議等）
7～8月頃	第7回 //（あり方答申案の審議等）
令和4年度上期中（目処）	北海道観光審議会（あり方答申）